

岡山大学における新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種について

(学長メッセージ)

この度、岡山大学では政府の要請を受け、本学構成員、関係者ならびに近隣の大学などを対象とした新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種を行うこととしました。

本学の全構成員の協力体制のもと、モデルナ社製のワクチンを使用し、7月9日から8月末まで一日1,000人規模でのワクチン接種を行います。

岡山大学病院においては、これまで多くのコロナ患者の受け入れを行い、かなりの負担がかかっているにも関わらず、多くの職員が協力を申し出てくれたことに感謝いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大対策としてオンライン授業をはじめ、実習や留学、課外活動、友人との交流などにおいて多くの自粛・我慢を求められてきた学生の皆さんには、希望する全員にワクチンが行き届くよう準備しています。

特に地域での接種に困難が予想される留学生の方など、本学の全構成員に安心して接種できる機会を提供する予定です。私としては、一人一人の安全・安心な大学生活を取り戻すとともに、地域や社会全体の感染防止に寄与する観点から、ワクチンについて正しく理解した上で、一人でも多くの構成員にワクチンを接種してもらいたいと考えています。

但し、このワクチン接種は任意であり、本学における大学活動において、ワクチン接種の強制や、接種しない人への差別があってはなりません。本学の構成員として良識ある判断と行動をお願いします。

また、ワクチン接種が済んだ後も、マスク生活、手指消毒の徹底、会食の制限など、今しばらくは我慢しなければいけないこともあります。社会の一員として、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、この大学拠点接種を通して、より安心できる大学の日常生活を取り戻し、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念をもとに、岡山大学の新たなステップを踏み出せることを願っています。

令和3年6月28日

岡山大学長 槇野博史